

Ablation index を用いた心房細動アブレーション治療後の再発に対して 2 回目の治療を行う患者の電気生理学的特徴と 2 回目の治療成績に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

心房細動に対するカテーテルアブレーション治療においては、不整脈の原因とされる肺静脈を電氣的に隔離し、不整脈の出現を防ぐ治療を行います。高周波を用いた治療では、Ablation index と呼ばれる高周波により形成される焼灼巣の程度を数値化し、この数値を指標にして焼灼を行う方法を当院では採用しています。この方法を用いることで、確実に肺静脈を隔離することができるようになっていきます。しかし、この指標を用いた治療を行っても依然として術後の再発はこの治療における大きな課題になっています。術後に再発をきたしてしまう原因の一つに、一旦隔離できた肺静脈が時間がたつて電氣的な伝導が回復してしまうこと（再伝導）があります。しかし、当院で用いている Ablation index を用いた治療を行うことでこの再伝導は減少していると考えられていますが、実際にどの程度の患者で生じているのかに関してまとまった研究はこれまで行われていません。

そこで、診療情報を収集し、当院で Ablation index を用いて心房細動に対する初回のアブレーション治療を行った患者さんの中から、術後に再発し 2 回目の治療を必要とした方を対象に、肺静脈の再伝導が生じていた方の割合を検討します。更に、肺静脈再伝導の出現に関わる要因の解析や肺静脈の再伝導の有無が 2 回目の治療後の再発にどのように影響を与えるのかに関して検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2018 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日までの間に高周波を用いた初回の心房細動アブレーション治療を行った方の中から不整脈の再発があり、2 回目のカテーテルアブレーション治療を当院で 2022 年 12 月 23 日までに行った方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎心疾患の有無、心房細動の種類、心電図・心エコー検査・血液検査の結果・内服薬・心房細動アブレーション治療中に行った電気生理学的検査の結果

研究予定期間

研究実施許可日～2024 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 循環器内科 岡松秀治

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停

止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 循環器内科 医長 岡松秀治 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	--